

〈記入例〉特定退職金共済制度「退職所得の受給に関する申告書」

《 さぼ～とさっぽろ以外からも退職手当を受け取る場合 》

※同じ年に退職手当が当センターを含め2か所以上からあり、当センターの支払が後になる場合

※退職所得の場合、この申告書の提出がないと一時金の20.42%が所得税として源泉徴収されます

8823

退職した年を記入
(年度ではありません)

年分 退職所得の受給に関する申告書 兼 退職所得申告書

現住所を記入

お名前を記入

課税年の1月1日現在の住民票登録住所(現住所と同一であれば「同上」と記入)

■A欄①、②、③について
当センターから支払いを受ける際の内容を記入

①請求書記入の退職年月日を記入

②「退職の区分」
・通常は「一般」に○印
・障がい者になったことを直接の原因として退職した場合は「障がい」に○印
・〔 〕に障がいの状態と障がい者手帳の交付年月日を記入
・障がい者手帳のコピーを提出

「生活扶助の有無」
・その年の1月1日現在で生活保護法による生活扶助をうけている場合は、生活扶助の「有」に○印
・生活保護受給証明書のコピーを提出
・その他は「無」に○印

③当センターの加入期間を記入
・当制度の加入日(退職金資格取得日)から退職日まで
・加入年数は端数月を切上

■B欄について
当センターからの支払いと同じ年に、すでに他からの退職手当の支払いがある場合や、当センターからの支払いが後になる場合はその内容を記入

⑤「③」と「④」を通算した勤続期間を記入

前年以前4年内に退職手当の支払いを受けた方は記入

■E欄について
「支払を受けた年月日」
・退職手当等を受けた日を記入
「退職の区分」
・②と同様に選択

※本年中に他にも退職所得の支払いを受けた場合は
退職所得の源泉徴収票の写も添付してください。

※本年中に他にも退職所得の支払いを受けた場合は
退職所得の源泉徴収票の写も添付してください。